



》ごみ収集車の火災事故防止にご協力を

津市では、中身が残ったカセットボンベやスプレー缶、使い捨てライターなどが原因とみられるごみ収集車の火災が毎年発生しています。収集車の中に漏れ出した可燃性ガスに、金属摩擦で発生した火花が引火して起きたと考えられます。

ごみ収集車の火災は、車両の損害やごみの収集時

間の遅延だけではなく、収集作業員や周囲にいる人の命にかかわる重大な事故につながる恐れがあります。

ごみ収集車の火災を未然に防ぐため、危険ごみなど車両火災の原因となるごみの分別を守って出してください。



過去に発生した収集車の火災



火災の原因となった
スプレー缶

⚠ 注意 ⚠

車両火災の原因となるライターやガスの残ったカセットボンベなどは、危険ごみの日に出してね！



カセットボンベ・スプレーなどの缶



カセットボンベ・スプレー缶だけを透明・半透明の袋に入れて



危険ごみの日に出す
(3カ月に1回)



中身を使い切って穴を開けたものは、金属の日にも出せます

使い捨てライター

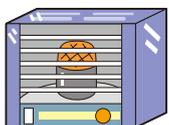


使い捨てライターだけを透明・半透明の袋に入れて



危険ごみの日に出す
(3カ月に1回)

石油ストーブ



灯油、乾電池を抜いて



本体は金属の日に出す



乾電池は危険ごみの日に出す
(3カ月に1回)



残った灯油の処分は販売店にご相談ください